

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	星とたんぼぼ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R8.1.28	～	R8.2.28
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R8.1.28	～	R8.2.7
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8.3.6		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の評価に基づいて、個別の支援をしているところ	子どもの観察評価に、かなりの時間をかけ、あらゆる面から包括的に子ども達を見ていくこと。 子どもの問題行動について、あらゆる面から原因を探り、その原因の改善に努めること	これからも、今まで同様、子ども達の行動を観察、評価、分析する。 一人ひとりの実態、本人、家族の思いに応じたオーダーメイドの支援を続けていく事。
2	一人で考え込まない。チームで考えること。子ども達の問題行動に対して、すぐに事業所内で話し合える体制があること。	毎日、時間をかけて、朝礼、反省会を行っている。また、問題行動があった時に、すぐに会議で全員で話し合い、解決策を考える。 担当でも、一人で支援するのではなく、色々な支援者が支援することによって、気づきや有効な支援について、皆で話し合い進めている。	これからも、この時間や体制を大切に、一人ひとりの事について、皆で関わるという姿勢を持ち続ける。
3	専門の先生が、顧問や理事でいるので、何でも専門的なアドバイスが受けられること。	まず、各事業所で悩みを話し合い、その中でもわからないことについてコンサルや勉強会に出すようにしている。いろいろ工夫して試したことがあるので、より、アドバイスが入りやすい。専門家の見地からのアドバイスは、行き詰った事業所内だけの話し合いではなく、とても学びになるし、子ども達にとっても有効であると思う。	今後も、自分たちで解決できることと、そうではないことを見極め、相談をしていきたい。また、各事業所内で、同様のアドバイスができる職員を見つけ、まずは、そこに相談する等の体制を整えたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子ども達が通っている小学校との連携	当事業所が行っている「保育所等訪問支援事業」に契約をした家族は介入しやすいが、それ以外だと、なかなか小学校には入れない。（児発は全員園訪問に行っていたが）	必要な家族は、できるだけ「保育所等訪問支援事業」と契約をしてもらい、小学校での様子を実際に見て、支援につなげていきたい。
2	親同士の交流	親の会は、年3回開催をしているが、子どもを見る人がいないという理由で来られない方も多い。	託児の体制を取るか、集まれる時に、もっと少人数での話し合いの場を設ける。
3	小集団活動で、同じねらいではなく、個人によってねらいが様々（うちの強みでもあるが）	各希望の曜日に登所するため、課題がそれぞれ違い、小集団での活動のねらいが合わせにくい。	人数が増えてきたので、ねらいを主にグループを決める（年齢ではなく）機会も作る。